

生涯発達論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：教授・吹田夕起子

科目担当者（職位・氏名）：教授・濱中喜代、准教授・石井真紀子

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：34

■ 授業概要

看護の対象である人間の一生涯を生涯発達の見点すなわち出生から老年期、死に至る過程を発達のプロセスとして捉え、発達に関する諸理論および各発達段階の身体的、精神的、社会的な側面の特徴について学び、生涯発達を支える看護を考えるうえでの基礎となるよう教授する。

■ 到達目標

1. 看護の対象である人間を生涯発達の見点で捉え、説明できる。
2. 発達に関する諸理論について説明できる。
3. 各発達段階の身体的、精神的、社会的な側面の特徴を説明できる。

■ 教育内容

健康支援と社会保障制度

■ キーワード

人間の生涯、諸理論、発達段階・課題、身体的、精神的、社会的な側面の特徴

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	人間と生涯発達と関連理論	発達とは、発達のプロセス 生涯発達の観点（出生～死まで） ボウルビィの「愛着理論」 ピアジェの認知発達理論 エリクソンの自我発達理論	濱中
2	乳児期の発達の特徴	乳児の身体的成長、機能的、心理社会的な発達	濱中
3	幼児期の発達の特徴	幼児の身体的成長、機能的、心理社会的な発達	濱中
4	学童・思春期の発達の特徴	学童・思春期の小児の身体的成長、機能的、心理社会的な発達	濱中
5	成人期の発達の特徴	成人期にある人の身体・心理・社会的特徴、 発達課題 成人年齢の引き下げと成人としての自覚	石井
6	成人各期の特徴と成人期に特有な健康問題	成人各期に特有な健康問題とその背景	石井
7	老年期の発達の特徴①	発達理論からとらえる老年期	吹田
8	老年期の発達の特徴②	老年期にある人の身体・心理・社会的特徴	吹田

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

期末試験 80%、課題レポート 20%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・ 期末試験後にクラス全体の到達状況及び平均点を Google Classroom にアップロード（掲示）します。希望者に対して試験のフィードを行いますので、事前にアポイントを取ったうえで、科目責任者の研究室を訪ねること。
- ・ 提出された課題にはコメントを付して、返却する。

■ 教科書

- ・ 『デジタル ナーシング グラフィカ』 メディカ出版
 - 小児看護学 ① 小児の発達と看護
 - 成人看護学 ① 成人看護学概論
 - 基礎看護学 ① 看護学概論
 - 老年看護学 ① 高齢者の健康と障害

■ 参考書・参考資料等

- ・ 服部祥子著（2020）『生涯人間発達論 第3版 人間への深い理解と愛情を育むために』医学書院
- ・ 医療情報科学研究所編（2023）『看護がみえる vol.5 対象理解 I』メディックメディア

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・ 授業前後の学習は授業にて指示する。
- ・ 授業1コマにつき、事前・事後学修それぞれ90分程度（計180分程度）必要とする。
- ・ 教科書を読んで予習をし、さらに自分の子ども時代を振り返り、まとめること。
- ・ 事後学習として、授業時配布資料と教科書を読み、内容が理解できているかどうかを確認すること。

■ 担当教員からのメッセージ

看護の対象である人間の総理解のための科目であり、今後の看護学専門科目の理解に必須のものです。人間に関心をもち、生涯発達の観点を自分のものにしましょう。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 7、suita★iwate-uhms.ac.jp、オフィスアワーは特に定めません。事前に連絡して訪問してください。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の实務経験

看護師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

病院での看護師の業務経験を生かし、人間の生涯発達に関する専門的で実践的な講義を行います。